

忘れられない出会い：あの頃、そして、今も人生という学校で、私たちは永遠^{とわ}に学び続ける——それは、決して終業ベルの鳴らない授業

ケビン・クライ 卒業の朝

エミール・ハーシュ



人生を迷いながら進むあなたへ—

これは、<今>をどう生きるかを考える人生の物語



「人生の価値は失敗や成功の数ではない。何度も失敗しても教師は望みを捨てない。

教育には人を変える力があり、人の運命を変える。」



卒業の朝

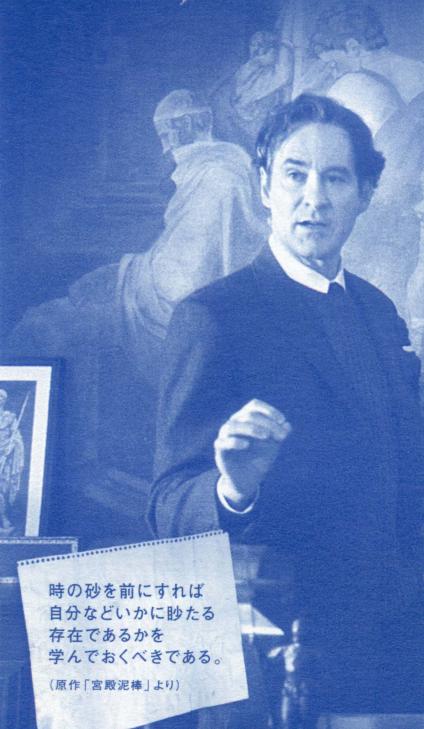
毎日、新しい朝に思うこと“昨日の私と変わっているのか?”と…



—永い人生の中の<今>という一瞬を生きている私たち。その一瞬一瞬が完璧な人などいるだろうか？誰しも自己の信念を覆すような出来事に直面し、心に傷を負っていく。それでも前を向いて歩いていけるのは、師が松明となって、私たちの人生をはるかに照らしてくれているから。人生において、その“師”が、どのような形で現れるかはわからない。しかし、その存在によって、人は新たな一步を確実に踏み出すことができる。

人生とは果てしなく学び続けることなのかもしれない。よりよい人生を願いながら、挫折と再生を繰り返しながら…

The Emperor's Club



時の砂を前にすれば
自分などいかに眇たる
存在であるかを
学んでおくべきである。

(原作「宮殿泥棒」より)

名門、聖ベネディクト校で教鞭をとるウィリーアム・ハンダートは、もの静かながら、生徒の人格形成こそ教師の使命と信じていた。歴史を教える彼は、過去から道徳を学び、美德溢れる生き方をするように生徒たちを諭した。

しかし、上院議員の御曹司セジウック・ベルが転校してきた日から、ハンダートの中で何かが変わり始める。神聖な学び舎の伝統を平然と破り、権威に食ってかかるベルは、そのカリスマ性で学友を磁石のように引き寄せ

る。その言動にハンダートは手を焼くものの、なぜか彼に惹きつけられてしまう。一ハンダートの確固たる信念を揺るがすきっかけとなつたのは、恒例行なコンテストだった。このコンテストをめぐる一連の出来事が、ベルだけでなく、他の生徒たちの運命を決定づける一方、以降永きに渡り、ハンダートに自己の生き方を問い合わせることとなる。そして25年経ったある日、ベルから同窓会の招待状が送られて来るが…

原作はイーサン・ケイニンが著した「宮殿泥棒」。現在、作家業と両立させながら教鞭をとるケイニンが、少年の頃に出会い、強い影響を受けたという歴史教師をハンダート像に投影させた、いわば回顧録ともいえる短編小説である。決して綺麗ごとだけでは語れない人生のほろ苦さを描いたこの秀逸な物語を、「素晴らしき日」のマイケル・ホフマン監督が、これまでに作ってきた学園ものとははっきり一線を画する珠玉のドラマに仕立て上げた。

信念を曲げない教師ハンダートにはアカデミー賞受賞俳優ケビン・クライン(『遠い夜明け』『ソフィーの選択』)が扮し、彼の俳優人生においてかつてないほどの演技を披露する。また、学園に波瀾を起こす反逆児セジウック・ベ

ル役は、ジョディ・フォスターがプロデュースした『イノセント・ボーイズ』の瑞々しい演技で一躍注目を浴びたエミール・ハーシュが抜擢され、名優クラインに負けない存在感を見せている。

流麗なカメラワークはジュゼッペ・トルナーレ監督の『海の上のピアニスト』や『マーレナ』で撮影監督を務めたラホス・コルタイ、典雅で上質な学園風景を作り上げたのは『アマデウス』でアカデミー賞を受賞したプロダクション・デザイナーのパトリツィア・フォン・ブランデンスタイン。また、『ベスト・フレンズ・ウェディング』他、100作品近くの映画音楽を手がけ、これまで5度のアカデミー賞ノミネート経験のあるジェームズ・ニュートン・ハウードの品位ある音楽が作品を美しく彩る。

出演:ケビン・クライン、エミール・ハーシュ、エンベス・ディビット
監督:マイケル・ホフマン 原作:イーサン・ケイニン <「宮殿泥棒」柴田幸三・訳 文藝文庫>

サントラ:ジョン・エンターテインメント/ランブリング・レコード

2002年/アメリカ映画/字幕翻訳:戸田奈津子/上映時間:11時間49分/東宝・東宝東和:共同提供 ① www.eigfan.com

© 2002 BEACON COMMUNICATIONS, LLC. ALL RIGHTS RESERVED. IN ASSOCIATION WITH TOHO-TOWA COMPANY LTD.

3月 三番街シネマにて<感動と希望>のロードショー!!
『当料金』一般1800円/大・高生1500円/中学生・小人・シニア(60才以上)1000円(税込)

阪急・梅田駅ちやまち口すぐ・百又ビル
三番街シネマ
06(6374)0661